

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立多治見工業高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年7月14日(水) 14:00~16:00
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	加藤 大輔	市青年会議所理事長
副会長	樋口 正和	同窓会役員
委員	加藤 亨	明和工業株式会社管理部長
	稲垣 尚子	Mamas' Cafe
	松村 敦子	養正公民館館長
	日比野衣里	地域代表
	赤坂 栄治	前育友会長
	船戸 敬子	育友会副会長
学校側	有賀 昭人	校長
	曾貝 隆之	教頭
	三宅 克典	事務長
	田口 稔	教務主任
	青山 知喜	生徒指導主事
	小池 勉	進路指導主事
	加藤 龍輔	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 地域との連携について

意見1: 陶器業界も厳しい状況ではあるが、これからも地域産業を担える人材の育成を目指してほしい。

意見2: 地元にも優良企業は多くある。インターンシップや工場見学等を推進することで、地元企業への理解を深める努力が必要である。

意見3: 地域の活動に積極的に参加し、地元を盛り上げてほしい。

意見4: 公民館主催のものづくり体験教室に協力いただき感謝している。今年度は人気が高く、すぐに募集人数が集まった。

(2) 施設・設備について

意見1: 実習室へのエアコンが未整備であり、夏場の作業が心配である。スポットクーラーが設置されていたが活用されてのとはなぜか。

⇒ 工業高校は実習室等の部屋数も多く、全ての部屋にエアコンの整備がされていない。スポットクーラーは、排熱で部屋全体が温まってしまうので、複数人

が部屋の中で活動しているときは使いづらいこともある。

意見2：工作機械等も老朽化しているようである。基礎・基本も大切だが、時代にあった設備が必要ではないか。

⇒ 設備の更新は大きな費用が必要となる。限られた予算の中で大変であるが、学校として必要なものは要求していきたい。

(3) 学習について

意見1：資格取得に取り組む姿も見られた。資格取得やものづくりは自分の可能性を広げ、将来的にも有利であるため力を入れていくべきである。

意見2：パソコンの実習など、社会に出てから役立つ学習をしてほしい。

意見3：先進的なICT機器が導入されている。楽しい授業をお願いしたい。

(4) 進路について

意見1：男子の就職先は多いが、女子が就職したい企業の開拓も必要である。

意見2：地元企業への進路指導もお願いしたい。

(5) 部活動見学より

意見1：生徒が気持ちよく挨拶をしてくれる。

意見2：運動部・ものづくりの部活動共に熱心に取り組んでいる様子がよかった。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の学校運営方針について説明を行い、全委員より承認が得られた。施設見学と部活動の見学をした後に協議を行った。生産系部活動の見学では実習室等の設備の見学も行った。

生徒からの気持ちのよい挨拶など好評であった一方で、機械設備の古さの指摘もあった。

地域との連携を求める声が多く、工業高校として地域に根差した活動の必要性を強く感じた。

スクール・ポリシーについても説明し、第2回学校運営協議会にて意見交換を行うことのできる了解を得た。